
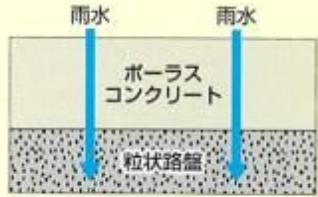
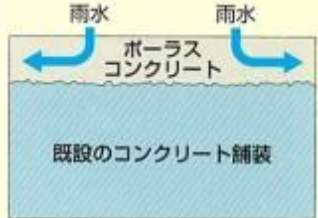
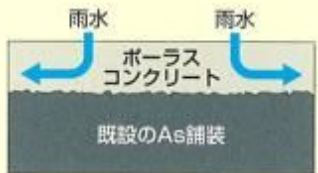


1.3 舗装構造は4種類

車道用ポーラスコンクリートを用いた舗装構造は、大別して次の4種類です。

	分類	特徴	構造	断面
フルデプス型	排水性 (4、9ページがこのタイプ)	雨水をアスファルト(As)中間層で受け左右の側溝に誘導するタイプです。	ポーラスコンクリート層を舗装版とします。版厚は10cm以上とし、その下にAs中間層を設け、路盤、路床への雨水の浸透・エロージョンを防ぎます。	
	透水性 (7ページがこのタイプ)	雨水を地層まで浸透させるタイプです。	ポーラスコンクリート層を舗装版とします。版厚は10cm以上とし、路盤・路床・地層へ雨水を浸透させます。	
薄層付着型	排水性コンクリートオーバーレイ型	新設あるいは既設コンクリート舗装の修繕として用います。	構造的な支持力は下層のコンクリート舗装版に受け持たせ、その上に5cm程度のポーラスコンクリート層を付着させたものです。	
	排水性のホワイトトッピング型	新設あるいは既設As舗装の修繕として用います。	構造的な支持力は下層のAs層と上層5~10cm厚のポーラスコンクリート層の一体となった版で受け持たせます。	

1.4 ポーラスコンクリート舗装の一般的な目標性状

空隙率	15~20%
曲げ強度 (材齢28日)	4.5N/mm以上
透水係数	$1 \times 10^{-3} \text{cm} / \text{sec}$ 以上

